



ドライフレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No. 1907/2006 (REACH)

作成日:2014年5月13日

改定日:2014年12月15日

Vervangt: 26-08-2013

バージョン: 1.1

1 項: 製品および会社情報

1.1. 製品識別

製品形態 : 混合物
商品名 : ドライフレックス® SF - 主剤 A

1.2. 製品の関連用途および使用禁止用途

1.2.1. 使用識別

工業用/業務用 : 業務用使用のみ

1.2.2. 使用禁止用途

追加情報なし。

1.3. 安全データシートの供給元

Repair Care
Cartografenweg 34
5140 AG Waalwijk - Nederland
T + 31(0) 416 650095 - F + 31(0) 416 652024
info@repair-care.com - www.repair-care.com

輸入元
会社名: 株式会社リペア・ソリューション
住所: 〒231-0011 横浜市中区太田町1-20三和ビル2-C
TEL: 045-228-0833
FAX: 045-228-0836

2 項: 危険有害性の要約

2.1. 純物質または混合物の分類

EU規則 (EG) No. 1272/2008 [CLP]に従った分類

Skin Irrit. 2 H315 皮膚刺激
Eye Irrit. 2 H319 強い目地劇
Skin Sens. 1 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
Aquatic Chronic 2 H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

H分類の全文: 16項を参照。

Directive 67/548/EEG(危険物質の分類, 包装, 表示に関する EU 指針)または 1999/45/EG (EU 危険混合物の分類, 包装, 表示に関する指針)に準じた分類

Xi; R36/38 眼および皮膚を刺激する
R43 皮膚と接触すると感作を引き起こすおそれ
N; R51/53 水生生物に毒性、水生環境中で長期の悪影響を及ぼすおそれがある

R分類の全文:16項を参照。

物理化学的、人体、環境への悪影響

追加情報なし。

2.2. ラベル要素

EU 規則 (EG) No. 1272/2008 [CLP]に従った分類

危険有害性シンボル (CLP) :



GHS07

GHS09

表示語 (CLP) : 警告
危険有害性成分 : 脂肪族 (C12-14) グリシジルエーテル、ビスフェノールF-エポクロロヒドリンエポキシ樹脂 (平均分子量 ≤ 700)、反応生成物: ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (平均分子量 ≤ 700)
危険有害性情報 (CLP) : H315 - 皮膚刺激
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 - 強い眼刺激
H411 - 長期継続的影響により水生生物に毒性
使用上の注意 (CLP) : P261 - 蒸気、ミスト、スプレーの吸入を避けること

ドライフレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No.1907/2006 (REACH)

- P264 - 取扱後は手と腕をよく洗うこと
- P272 - 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- P273 - 環境への放出を避けること
- P280 - 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること
- P302+P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと

2.3. その他の危険有害性

追加情報なし。

3 項: 成分の組成および情報

3.1. 純物質

該当しない。

3.2. 混合物

成分	CAS No.	含有量 %	官報公示整理番号 化審法 安衛法	その他	危険有害性情報 Directive 67/548/EEG
反応生成物: ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (平均分子量 ≤ 700)	25068-38-6	< 50	7-1283		Xi; R36/38 R43 N; R51/53 H319,H315,H317,H411
ビスフェノールF-エピクロロヒドリンエポキシ樹脂 (平均分子量 ≤ 700)	9003-36-5	< 25			Xi; R38 R43 N; R51/53 H315,H317,H411
脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル	68609-97-2	< 25			Xi; R38 R43 H315,H317

R 分類と H 分類の全文: 16項参照。

4 項: 応急処置

4.1. 応急処置

- 一般的な注意 : 意識がないものに経口で物を与えないこと。
気分が悪い時は医師の診断を受ける。(可能なら容器のラベルを見せる)。
- 吸入の場合 : 空気の新鮮な場所に移動する。被害者を休ませる。
- 皮膚に接触した場合 : 汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を多量の水またはシャワーで洗い(最低15分間)、必要に応じて医師の診断を受ける。多量の水と石鹸で洗う。汚染された衣類は洗濯してから再着用すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の水で洗うこと。痛み、ちらつき、赤みが長引く場合は医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口内を洗浄する。無理に吐かせないこと。
速やかに医療処置を受けること。

4.2. 重大な急性症状および遅発性症状

- 吸入の場合の症状/損傷 : 皮膚のアレルギー反応を引き起こす場合がある。
- 皮膚に接触した場合の症状/損傷 : 皮膚刺激を引き起こす。

4.3. 救急および特別な治療の必要性を示す兆候

追加情報なし。

5 項: 消化措置

5.1. 消火剤

- 適切な消火剤 : 泡。ドライパウダー。炭酸ガス。水のスプレー。砂。
- 不適切な消火剤 : 全開状態での放水。

5.2. 純物質または混合物から発生する特別な有害物質

追加情報なし。

5.3. 消化時のアドバイス

- 消化措置 : 水の霧状噴霧またはスプレーを使用しコンテナを冷却する。
消化時の化学品の取扱に注意する。消化時の汚水の環境への漏洩を防ぐ。

ドライフレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No.1907/2006 (REACH)

保護対策 : 呼吸保護を含む適切な保護具を着用しないで火災現場に立ち入らないこと。

6 項: 偶発的な漏洩に対する措置

6.1. 個人の保護、保護設備、緊急措置

6.1.1. 関係者以外

緊急時の措置 : 安全な場所へ避難させる。

6.1.2. 救急関係者

保護具 : 清掃員に適切な保護具を着用させる。

緊急措置 : 換気をよくする。

6.2. 環境保護

下水や公共用水への漏洩を防ぐ。製品が排水路や下水管に進入した場合は直ちに地域の行政機関に報告する; 水流、河川、湖を汚染した場合は環境庁へ届けること。環境への放出を避ける。

6.3. 汚染物質の回収と清掃方法

清掃方法 : 速やかに泥や珪藻土のような不活性なものに吸着させてすくい取る。
流出物を回収する。他のものから隔離して保管する。

6.4. 関連するその他の項目

使用時の個人用保護具は8項を参照。

7 項: 取扱および保管上の注意

7.1. 取扱注意

安全操作の為の予防措置 : 作業終了時、飲食や喫煙の前には水とマイルドソープで手とその他暴露した部分を洗浄する。
蒸気が発生しないよう作業場の換気をよくする。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
蒸気、ミスト、スプレーの吸入を避ける。

使用気温 : 50°C - 5°C

衛生管理 : 眼や皮膚との接触や蒸気及びミストの吸入を避けること。汚染された作業衣は着替えて、洗濯するまで再着用しない。

7.2. 混融危険性を含む安全な貯蔵条件

貯蔵条件 : 使用しない時は容器のフタをしっかりと閉める。
涼しくて換気のよい場所で、元の容器内でのみ保管すること。

不適切な生成物 : 強溶剤。強酸性物質。酸化剤。

不適切な物質 : すべての発火源を除去する。直射日光を避ける。

貯蔵温度 : 20 ° C ± 10° C

7.3. 特定の最終用途

業務用。

8 項: 暴露防止 / 個人用保護措置

8.1. 管理制限

追加情報なし。

8.2. 暴露管理

個人用保護具 : 不必要な暴露を避ける。

手の保護 : 適当な耐薬品性の保護手袋を着用すること。

眼の保護 : エポキシ樹脂や硬化剤が飛び散るおそれのある作業ではゴーグル型保護眼鏡を着用する。

皮膚の保護 : 適当な保護衣を着用する。

呼吸保護 : 適切な換気設備下での通常の作業の場合は呼吸保護具は必要ない。

その他の情報 : 作業中は飲食および喫煙をしない。

9 項: 物理化学的性質

9.1. 基本物理化学的性質

外観 : 液体

色 : イエローベージュ

ドライレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No.1907/2006 (REACH)

臭い	: 特徴的
臭気限界	: データなし
pH	: データなし
蒸発速度 (ブチルアセテート=1)	: データなし
融点	: < 0 ° C
凝固点	: データなし
沸点	: > 200 ° C
引火点	: > 93 ° C
自己発火点	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性 (固体、ガス)	: 不燃性
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°Cで)	: 1
相対密度	: 1.44
溶解度	: 水に溶けにくい
Log Pow 水分配係数	: データなし
粘度、キネマティック	: データなし
粘度、ダイナミック	: データなし
爆発性	: データなし
酸化性	: データなし
爆発下限界	: データなし

9.2. その他の情報

追加情報なし。

10 項: 安全性および反応性

10.1. 反応性

追加情報なし。

10.2. 化学的安定性

設定なし。

10.3. 危険反応の可能性

設定なし。

10.4. 回避すべき条件

極度の高温 (> 50 °C)または極度の低温 (<5 °C)を避ける。

10.5. 不適合物質

強酸。強溶剤。

10.6. 有害分解性物質

長期の加熱により、煙、一酸化炭素や二酸化炭素のような有害性生成物が放出されるおそれがある。

11 項: 毒性情報

11.1. 毒性影響情報

急性毒性 : 分類なし。

ビスフェノールF-エピクロロヒドリンエポキシ樹脂 (平均分子量 ≤ 700) (9003-36-5)

LD50 経口、ラット	>10000 mg/kg
LD50 経皮、ラット	>2000 mg/kg

脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル (68609-97-2)

LD50 経口、ラット	26800 mg/kg
-------------	-------------

反応生成物: ビスフェノールA型エポキシ樹脂 (平均分子量 ≤ 700) (25068-38-6)

LD50 経口、ラット	15000 mg/kg
LD50 経皮、ウサギ	23000 mg/kg

ドライフレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No.1907/2006 (REACH)

皮膚の腐食性/刺激性	: 皮膚に対して刺激性。
重篤な眼の障害/刺激性	: 重篤な眼刺激を引き起こす。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。
呼吸器または皮膚感受性	: アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。
生殖細胞変異原性	: 分類なし。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。
発がん性	: 分類なし。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。

ビスフェノールF-エピクロロヒドリンエポキシ樹脂(平均分子量<700)(9003-36-5)

NOAEL(慢性、経口、動物/オス、2年)	250 mg/kg 体重
-----------------------	--------------

脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル(68609-97-2)

NOAEL(慢性、経口、動物/オス、2年)	100 mg/kg 体重
-----------------------	--------------

生殖器毒性	: 分類なし。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。
特定標的臓器毒性(単複暴露)	: 分類なし。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。

脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル(68609-97-2)

NOAEL(経皮、ラット/ウサギ)	100 mg/kg 体重
-------------------	--------------

特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 分類なし。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。
吸入性呼吸器毒性	: 分類なし。 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。
人体への影響や症状の可能性	: 現時点で入手し得るデータ上、分類対象外。

12 項：環境影響情報

12.1. 毒性

環境影響 - 水	: 長期継続的影響により水生生物に毒性。
----------	----------------------

ビスフェノールF-エピクロロヒドリンエポキシ樹脂(平均分子量<700)(9003-36-5)

LC50 その他の水生生物1	96hr 2,54mg/l leuciscus idus
EC50 ミジンコ1	48hr 2,55
ErC50(藻)	48hr 1,8mg/l

脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル(68609-97-2)

LC50 その他の水生生物1	96hr >5000mg/l leuciscus idus (OECD 203)
EC50 ミジンコ1	48hr 6,07mg/l OECD 202
ErC50(藻)	72hr 843,75mg/l OECD 201

反応生成物: ビスフェノールA型エポキシ樹脂(平均分子量 ≤ 700)(25068-38-6)

EC50 ミジンコ1	48hr 1,8 mg/l
LC50 その他の水生微生物2	96hr 2 mg/l leuciscus idus
ErC50(藻)	72hr 11 mg/l

12.2. 持続性および分解性

ドライフレックス® SF - 主剤 A

持続性および分解性	長期的に環境に悪影響を及ぼすおそれ。
-----------	--------------------

ビスフェノールF-エピクロロヒドリンエポキシ樹脂(平均分子量<700)(9003-36-5)

持続性および分解性	水中で生分解性が遅い。
-----------	-------------

脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル(68609-97-2)

持続性および分解性	迅速な生分解性。
-----------	----------

ドライレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No.1907/2006 (REACH)

12.3. 生態内蓄積能

ドライレックス® SF - 主剤 A

生態内蓄積能 : 設定なし。

脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル (68609-97-2)

Log Pow 水分係数 : 3,77 OECD 107

生態内蓄積能 : 生物濃縮性なし。

12.4. 土壌移動性

追加情報なし。

12.5. PBT 物質と vPvB 物質の評価

追加情報なし。

12.6. その他の悪影響

: 環境への放出を避ける。

13 項: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄対策

廃棄物処理勧告 : 地域/国の規制に従って廃棄すること。
廃液/容器は地域/国の認可を受けた廃棄処理施設で処理すること。

環境対策 : 環境への放出を避ける。

14 項: 輸送上の注意

国際規制

14.1. 国連番号

国連番号(IMDG) : 3082

14.2. 国連出荷正式名

出荷正式名(IMDG) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Bisphenol-F-epichlorohydrin epoxy resin average molecular weight \leq 700, reaction product: bisphenol-A-(epichlorohydrin), epoxy resin (number average molecular weight \leq 700))

14.3. 危険物輸送分類

IMDG

危険物輸送分類(IMDG) : クラス9
環境有害性物質



14.4. 容器等級

容器等級(IMDG) : III

14.5. 環境危険性

環境有害性 : あり。

海上汚染 : あり。

その他の情報 : 情報なし。

14.6. 陸路輸送

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取り締法に該当する場合は、それぞれの該当規制が定める運送方法に従う。

ドライフレックス® SF - 主剤 A

安全データシート

According to Regulation (EG) No.1907/2006 (REACH)

15 項: 規制情報

15.1. 純物質または混合物の安全衛生および環境に関する規制/法律

15.1.1. 日本の規制/法律に関する情報

:労働安全衛生法:

表示対象物質:該当しない。

* 法令ではないが下記労働省通達あり。

「労働基準局長通達平成8年3月29日付け基発第182号」

労働基準法施工規則の規定に基づき労働大臣が指定する単体たる化学物質および化合物に係る労働衛生対策について(感作性化学物質)。

「労働基準局長通達平成5年5月17日付け基発第312号の3」

変異原性が認められた化学物質による健康被害を防止するための指針。

:化学物質管理促進(PRTR)法:該当しない。

:化審法:優先化学物質 No. 75 (官報公示日:20011/04/01)。

「4,4'-(プロパン-2, 2'-ジイル)ジフェノール(別名 4,4'-イソプロピリデンジフェノール又はビスフェノールA)」。

:毒物および劇物取締法:該当しない。

:消防法:該当しない。

:船舶安全法・航空法:環境有害性物質(クラス9)。

16 項: その他の情報

参考文献

: REGULATION (EC) No 1272/2008 OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL of 16 December 2008 on classification, labelling and packaging of substances and mixtures, amending and repealing Directives 67/548/EEC and 1999/45/EC, and amending Regulation (EC) No 1907/2006.

化学物質総合情報評価システム(CHRIP)データベース独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 職場のあんぜんサイトデータベース 厚生労働省

新・エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱の手引き 改訂新版 エポキシ樹脂技術協会

R 分類、H 分類、EUH 分類の全文:

Aquatic Chronic 2	水生環境毒性 - 慢性毒性、カテゴリー2
Eye Irrit. 2	重篤な眼の障害/眼刺激、カテゴリー2
Skin Irrit. 2	皮膚腐食性/刺激性、カテゴリー2
Skin Sens. 1	皮膚感作性、カテゴリー1
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
H319	強い眼刺激
H332	吸入すると有害
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性
R20	吸入すると有害性
R22	飲み込むと有害性
R25	飲み込むと毒性
R34	やけどを引き起こす
R35	重度のやけどを引き起こす
R36/38	眼および皮膚を刺激する
R38	皮膚を刺激する
R43	皮膚接触すると感作を引き起こすおそれがある
R51/53	水生生物に毒性、水生環境中で長期の悪影響を及ぼすおそれがある
N	環境危険性
Xi	刺激性

SDS EU (REACH bijlage II)

本製品の安全データシートは現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて、製品の安全衛生および環境要求事項の参考情報として提供するものであり、製品の性能、情報の正確さ及び完全さを保証するものではありません。

記載内容は新しい知見および法令の改正等により改訂されることがあります。

危険・有害性の情報及び評価は必ずしも充分ではありません。取扱には充分ご注意ください。

本製品の適正な使用については、記載内容の適応性をご確認の上、ご使用者様の責任において行ってください。